**Git/GitHub勉強会\_ハンズオン手順書**

1. **リモートリポジトリ（GitHub）を確認します。（upload\_test.txtしかないはず）**<https://github.com/YutaKuroyanagi/git_training.git>
2. **Cドライブ直下に移動します**

cd C:\

1. **clone コマンドによって、GitHubからファイルを取得してみましょう**以下コマンドを入力して、ファイル（および変更履歴）を取得してください。  
     
   ⇒ ファイルエクスプローラでC:\を確認すると、git\_trainingフォルダが作成されています。

git clone https://github.com/YutaKuroyanagi/git\_training.git

1. **ファイルを作成します**何らかの方法（ファイルエクスプローラで右クリック⇒新規作成など）でテキストファイルを作成します。  
   ファイル名：ローマ字の名前.txt（例：kuroyanagi.txt）
2. **addコマンドによって変更したファイルをgitに認識させます**

git add [作成したファイル名]

1. **commit コマンドによって変更をローカルリポジトリに反映させます**

git commit –m “[適当なメッセージ]”

1. **pushコマンドによってローカルリポジトリの変更をリモートリポジトリに反映させます**

git push

1. **githubを参照して、作成したファイルが存在することを確認します**  
   <https://github.com/YutaKuroyanagi/git_training.git>
2. **（他の人の作業が完了したら）pullコマンドよってリモートリポジトリの変更を取得します**  
   ⇒ ファイルエクスプローラでファイルが追加されていることを確認する

git pull

要所でGitHubのアカウントとパスワードを求められた際は、以下アカウント/パスワードを入力してください  
アカウント：YutaKuroyanagi, パスワード：tsysP@ssw0rd

1. **ローカルリポジトリにブランチを作成します**

git branch [ローマ字の名前]

1. **ローカルで参照しているブランチを確認します**  
   ⇒ “＊“が付いているブランチ名が現在参照されているブランチ

git branch

1. **ローカルで参照しているブランチを切り替えます**

git checkout [作成したブランチ名]

1. **ローカルで参照しているブランチが切り替わったことを確認します**

git branch

1. **何らかの方法で先の手順で作成したファイルを更新します**
2. **変更した内容をgitに認識させます**

git add [作成したファイル名]

1. **作成したブランチをリモートリポジトリへ反映させます**

git push origin [作成したブランチ名]

1. **githubを参照して、作成したブランチが反映されていることを確認します**
2. **masterブランチに移動する**

git checkout master

1. **作成したブランチの変更をマージする**

git merge [作成したブランチ]

1. **リモートリポジトリにマージした結果を反映する**

git push

1. **githubを参照して、マージした結果が反映されていることを確認します**